

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 2月 10日

所属・職名	商経学部 商学科 准教授	氏名	川崎 知己
研究課題	総合的な学習(探求)の時間の推進・充実に関する促進要因の検討 ― 教員の特性に焦点をあてて (当初計画の研究課題「初等・中等教育期間における学習のつまずき感の生成要因と克服要因」*)		
研究キーワード	総合的な学習(探求)の時間 M-GTA 総合的な学習の時間の指導に特有の指導技術 促進要因	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた

*当初計画していた研究課題は「初等・中等教育期間における学習のつまずき感の生成要因と克服要因」であったが、2021年度から非常勤教員が急遽授業をもてない大学事情が発生したため、特別活動と総合的な学習の時間に関する教職課程科目をもたなければならなくなった。そのためには文部科学省の審査を通過する2本の論文を執筆しなければならなくなり、当初計画の研究を翌年度に回すことにしたため、ここでは顕著な研究成果の一つを報告する。

1. 研究成果の概要

総合的な学習の時間の推進・充実に関する促進要因について、児童生徒への教育を直接担う教員の特性に焦点をあてて、探索的に明らかにすることを本研究の目的とした。方法として、M-GTAを用いて分析を行った。その結果、本学習について試行錯誤・探求を教科の制約から解放されて実施できるという受け止め方や、他教科とは異なる性質の時間という認識、児童生徒の達成感、生き方への反映の願い、児童生徒の成長・発達に関する教員の識見、創造・開発を楽しむ資質、学習活動進行能力、総合的な学習の時間の指導に特有の指導技術が促進要因になり得ることが明らかになった。

2. 著書・論文・学会発表等 (海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【著書】

・小学生のためのソーシャルスキル・トレーニング スマホ時代に必要な人間関係の技術 渡辺弥生・藤枝静暁・飯田順子 編著 川崎知己 他 2019年3月 明治図書 話すスキル 困っているときに助けを求めるスキル

・新しい時代の生徒指導・キャリア教育 和田 孝 有村 久春 編著 川崎知己 他 2019年3月 ミネルヴァ書房 第11章 子どもの発達と進路指導・キャリア教育の充実―各校種の進路指導の実際―

・公認心理師の資格をもつガイダンスカウンセラーの実践③ 教育行政・学校管理職の立場でガイダンスカウンセリングに関する主導的役割を担って 川崎知己 2019年6月 月刊誌 指導と評価 vol.65-6 No.774 (2019年6月号) 日本図書文化協会日本教育評価研究会

【論文】

・教員の管理職志向性の規定要因に関する研究 ―性別による相違に着目して― 川崎知己(単著) 日本教師教育学会年報 第28号(2019年版) 2019年9月 【査読付】

・総合的な学習(探求)の時間の推進・充実に関する促進要因の検討― 教員の特性に焦点をあてて ― 川崎知己(単著) 千葉商大紀要第57巻第1号 35-60 2019年7月 (査読無)

・今後の特別活動におけるガイダンス及びカウンセリングの在り方について―日米のガイダンス及びカウンセリングの潮流を比較して― 川崎知己(単著) 千葉商大論叢第57巻第1号 87-107 2019年7月 (査読無)

【学会発表】

・多職種連携を促進する校内体制とは―校内 コーディネーター, 管理職, スクールカウンセラー, スクールソーシャルワーカーの実践から― 日本教育心理学会第61回総会 2019年9月 日本大学

・教員を対象としたいじめ予防・対応に関する研修の効果の検討 日本教育心理学会第61回総会 2019年9月 日本大学

3. 主な経費

インタビュー先での作業を行うためのノートパソコン、インタビュー内容記録のためのビデオカメラ、アンケート調査の集計のためのマークシート読取ソフトを購入したほか、関連書籍の購入や文具代、所属学会の年会費等に使用した。

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等) 特になし